

様式第2号(第8条関係)

審議会等会議録

会議の名称	令和6年度 第1回加須市立図書館協議会
開催日時	令和6年8月21日(水) 午後2時00分から午後3時15分まで
開催場所	市民プラザかぞ 5階 女性センター活動室
議長氏名	岡安紀元
出席委員	岡安紀元、梅澤哲雄、能登和枝、江利川哲也、山村一久
書面協議による委員	大谷貴子、黒川スミ子、島崎すみ江、加藤道雄、小野寺敦子
欠席委員	なし
会議次第	1 開会 2 あいさつ 教育長 岡安委員長 3 紹介 委員及び事務局職員 4 会議録書名委員の選任について 5 議事 (1)「第4次加須市子ども読書活動推進計画」の実施状況について (2)その他 6 閉会
会議資料の名称	資料1 第4次加須市子ども読書活動推進計画の進捗状況の結果(総括表) 資料2 第4次加須市子ども読書活動推進計画における令和5年度の実施状況 資料3 令和5年度加須市立図書館事業結果 資料4 令和6年度加須市立図書館事業予定 資料5 加須市公共施設等総合管理計画(試案)改訂版より抜粋
会議の公開又は非公開の別	公開
非公開の理由	
傍聴者の数	0人
説明者の職・氏名	図書館課長兼加須図書館長 大原真理子、同課主幹 牛久保敏之、同課主幹 阿部浩和、同課主査 小澤 学
事務局職員職・氏名	生涯学習部長 斉藤千恵美、図書館課長兼加須図書館長 大原真理子、騎西図書館長 中島隆明、北川辺図書館長 相良 格、童謡のふる里おとね図書館長 齋藤一夫、同課主幹 牛久保敏之、同課主幹 阿部浩和、同課主査 小澤 学
会議録の作成方法	☒ 要点記録 ☐ 全文記録
その他必要な事項	

様式第3号(第8条関係)

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
事務局(牛久保)	1 開会
小野田教育長	2 あいさつ
岡安委員長	あいさつ
事務局(牛久保)	3 委員の紹介及び事務局職員の紹介
事務局(牛久保)	4 会議録署名委員の選任を、岡安委員長にお願いする。
岡安委員長	会議録署名を梅澤副委員長にお願いする。
梅澤副委員長	了承した。
岡安委員長	5 議事 それでは議事に入る。 (1)「第4次加須市子ども読書活動推進計画」の実施状況について、事務局より説明をお願いする。
事務局(大原課長)	〔資料1及び資料2に基づき説明〕
岡安委員長	以上、説明をいただいた。何か質問は。
岡安委員長	学校との連携がうまくいっていないと感じる。新型コロナウイルスの影響が続いているのかもしれないが、各取組への学校の参加が少ない気がする。
事務局(大原課長)	学校は様々な行事があるため、読書に特化した内容に取り組んでいただくのはなかなか難しいと考えている。今後も可能な限り各事業に参加していただくよう、学校との連携を図っていきたい。
岡安委員長	資料2のNo.12、13だが、公立保育所と公立幼稚園の職員は、読み聞かせ研修会などへ参加しなかったということか。
事務局(大原課長)	令和5年度は公立保育所、公立幼稚園からの参加がなかった。令和6年度は公立幼稚園については参加の予定があると聞いている。毎年度は難しいとは思いますが、可能な限り参加していただけるように働きかけたい。
岡安委員長	民間の保育所はどうか。
事務局(大原課長)	民間の保育所にも情報提供はしている。また、4～6歳向けのブックリストは

	民間の保育所にも配布している。
岡安委員長	今は新聞を取っていない家庭が多い。私が幼いころは新聞があって活字を目にする機会があった。このことも活字離れに影響があるのではないかと心配している。
事務局(大原課長)	ご意見のとおり、新聞を取らない家庭も増えていると思う。資料2のNo.33「学校支援の実施校数の割合」に関連するが、今年度、学校に配布している「学校と市立図書館の連携サービスご案内」を、図書館サービスをより積極的に利用していただけるよう、分かりやすく作り変えた。今後も、こどもたちの読書活動を推進するため学校との連携を図っていきたい。
梅澤副委員長	資料2のNo.36「子ども司書講座の開催回数」の目標値は回数になっている。令和6年度は7月から8月にかけて3日間開催したと説明があったが、回数的には「3」となるのか。一括りとして「1」になるのか。
事務局(大原課長)	1回の講座を3日間の日程で開催したため、回数的には1回となる。以前から実施を検討していたが、初めての試みということもあり、内容の研究に時間を要したため、今年度からの開催となった。参加者からも好評で、今後もぜひ図書館との関わりを持っていただきたいのと、家庭や友人に読書の楽しさを伝えていただければと考えている。
梅澤副委員長	私がお手伝いをしている学校にも司書講座のポスターが送られてきたが、地味な感じを受けた。司書講座には職場体験のような内容も含まれているのか。
事務局(大原課長)	含まれている。司書講座は職場体験よりも時間的に余裕があるため、より深く司書の仕事内容を理解していただけたと考えている。
梅澤副委員長	資料2のNo.36「子ども司書講座の開催回数」の目標値が今後、倍になっているが、無理はないか。
事務局(大原課長)	目標は高く設定したいことと、今年度は加須図書館で開催したが、将来的には4館全てで開催したいと考えている。
能登委員	図書館まつりは多くの人が訪れて大変賑わう。今年の開催はどうなっているか。
事務局(大原課長)	今年度については現在、計画中であり、10月から11月にかけて開催する予定である。ぜひ多くの方に来ていただきたい。
梅澤副委員長	資料2のNo.57「県立特別支援学校への支援の実施回数」について、学校に行くのは司書なのか。

事務局(大原課長)	特別支援学校の希望がおはなし会なので、司書が訪問して実施している。
梅澤副委員長	今後、ボランティア団体へ要請する計画はあるか。
事務局(大原課長)	司書で対応できないときには、ボランティア団体の皆様にもご協力をいただければと考えている。今後、検討したい。
岡安委員長	他に何かご質問は。 〔他に委員からの質問なし〕
岡安委員長	それでは、(2)その他について、事務局より説明をお願いします。
事務局(小澤)	〔資料3及び資料4に基づいて説明〕
事務局(大原課長)	〔資料5に基づいて説明〕
岡安委員長	以上、説明をいただいた。何か質問は。
能登委員	私は元町で老人会に入っている。元町はすぐそこなのだが、図書館に行ったことがない人が結構いる。老人会が図書館見学を依頼してもいいのだろうか。
事務局(大原課長)	学校だけではなく、老人会の皆さんも図書館見学を依頼することは可能である。ご希望があれば、ぜひご相談いただきたい。また、ぜひ市内の他の老人会の皆さんにも広めていただければと思う。
岡安委員長	資料5の基本的な方針の短期(10年以内)で4館から2館体制への再編を検討するとなっており、長期(11年～37年)でもいろいろ記載されている。短期の項目にある4館から2館へと再編する時には、同時に長期の項目も実施していくべきではないか。短期(10年以内)と長期(11年から37年)は同時進行になるのではないか。
事務局(大原課長)	基本的な方針の短期と長期は別々ではなく、同時に実施していくことになる。今の段階ではこの計画内容だが、図書館再編については、この先、DXの推進等で時代背景も変化していくので、今後、十分に検討する必要があると考えている。
岡安委員長	他に何か質問は。 〔他に委員からの質問なし〕 〔議事終了〕
岡安委員長	閉会のあいさつを、梅澤副委員長にお願いしたい。
梅澤副委員長	6 閉会

【書面協議による委員】	【意見及び回答】
大谷委員	「世界にひとつだけの絵本」について、両親が一生懸命に考えて付けた名前が表紙になり、絵本として残るのは素晴らしい。 「資料3」の蔵書数減少の理由は、電子図書への移行中ということか。貸出数の減少はコロナ禍を経て増加に転じているが、多くの方々がネットでの読書に移行しているのに関係あるのか。 「資料5」に電子図書の導入とWi-Fi環境の整備とあるが、有料でしか読めなかったものが図書館に行けば読めるようになるのか。
事務局	「資料3」の蔵書については、「加須市立図書館資料収集要綱」に基づいて収集するとともに、「加須市立図書館資料除籍基準」に基づいて除籍を行っている。また、電子書籍の導入については現在、検討中である。 貸出数の減少については、一般的にはスマートフォンやインターネットの普及、趣味の多様化、活字離れによるものと考えられる。このため、今後も魅力ある図書館づくりに取り組んで、貸出数の増加を図る。 「資料5」にあるように、現在、電子書籍とWi-Fiの導入を検討している。電子書籍を導入すると、利用者は通信料の負担だけでパソコンやタブレット、スマートフォン等を使って閲覧が可能となる。 Wi-Fiを導入すると、利用者はスマートフォンやタブレットなどで、通信料を気にせずに調査・学習や、図書資料の検索・予約貸出ができることから、新たな図書館利用者の増加に繋がることが期待できる。 このことから今後、費用対効果を検証しながら導入に向けた検討を行う。
島崎委員	「資料1」の全体評価では「やや達成できなかった」となっているが、計画全体では「目標を達成」及び「概ね達成」の割合が76.7%となっているので、全体評価は「概ね達成できた」でも良いのではないか。 「目標を達成」の割合が61.7%に達しているので、色々な方面で努力いただいた結果が表れている。
事務局	評価は全庁的に統一された評価方法を用いており、「資料2」に施策及び基本方針、全体の達成度評価の区分を掲載している。 ご意見にある「概ね達成できた」と評価するには、「目標を達成」及び「概ね達成」の割合が80%以上となる必要があるため、76.7%に留まった今回は「やや達成できなかった」と評価している。
島崎委員	貸出数が年々下がっているが、貸出数の増加に向けての検討が課題ではないか。
事務局	今後も他部局と連携し、各種展示や「おはなし会」等のイベントに関する情報発信を行うなど、魅力ある図書館づくりに取り組んで、利用促進及び貸出数の増加を図りたい。

島崎委員	図書館再編の検討については、人口減少や公共施設のあり方を考えるとやむを得ないことと思うが、慎重な検討が必要と思う。
大谷委員	おおとね図書館が他施設への転用を検討すると明記されているが、大利根地域の方の利便性を考慮できる「何か」があれば良いと思う。
事務局	図書館再編については、「加須市公共施設等総合管理計画(試案)改訂版」に基づき、今後、皆様のご意見を伺いながら慎重に検討していきたい。
小野寺委員	ブックスタートで、こどもの名前が入った知育絵本の配布に変更ということであるが、これまでどおり図書館でおすすめする絵本で良いのではないかな。長い間、こどもに喜ばれてきた実績のある絵本・力のある絵本を配布していた。
事務局	令和6年度から「世界にひとつだけの絵本(パーソナル知育絵本)」に変更したのは、こども本人が絵本の主人公となることから一生の宝物になること、親子が絵本に親しみ、絵本を通じて触れ合う時間が増えるとともに、こどもが本の楽しさを知るきっかけとなること、絵本を受け取りに図書館に来館していただくことによって図書館の利用促進に繋がることなど、これまで実施していた市販の絵本を配布する以上の効果が期待できるからである。
会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。(注) 令和6年 9 月 6 日 署名 <u>梅澤 哲雄</u>	

(注)特に署名を要しない審議会等については、事務局名を記入してください。